事業所名

高岡市きずな子ども発達支援センター

支援プログラム（児童発達支援事業）

作成日

令和6年

12月

13日

法人（事業所）理念		・すべての子どもに「ひとりで生きる力」と「人と共に生きる力」を育てるための支援をします。						
支援方針		・心身の発達に特別な配慮や支援が必要な子どもたちのために、医師・看護師・訓練士・保育士・教員等が連携し、子どもの健やかな発達と自立への基礎作りを目的としています。						
開所時間		8時	30分	17時	15分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
		1～3歳児			4・5歳児			
本人支援	健康・生活	・持ち物の準備や片付け、排泄や衣服の着替え等、日常生活動作について、一人一人に合わせて支援します。 ・身辺処理の手順について、実物を提示をしたり、声をかけて促したりします。						
	運動・感覚	・感覚統合の視点を取り入れた運動遊び（マット、トランポリン、ホーススイング、巧技台、ファニートンネル、平均台、はしご等の運動遊具を使った設定）を行うことで、全身を動かして取り組める活動を行います。						
	認知・行動	・保護者や保育士が遊びのモデルを見せ、遊びに誘いかけることで、興味や経験の幅を広げます。			・視覚支援を取り入れ、本人にわかりやすく伝えることで、活動内容を理解して、取り組めるよう支援します。			
	言語 コミュニケーション	・保育士がモデルを見せることで、簡単な仕草や発声で要求を伝えることができるよう支援します。			・保育士が伝え方のモデルを示し、要求や困ったことを伝えられるよう支援します。			
	人間関係 社会性	・保護者との関係を基盤にして、ふれあい遊びなどを通して、他者と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるよう支援します。			・簡単な約束を行い、守れたことを褒めながら、望ましい行動を増やします。 ・保育士が仲立ちとなり、他者との望ましい関わり方が身に付けられるよう支援します。			
家族支援		・ペアレント・トレーニング（希望者） ・個別相談			移行支援		・地区相談会等の紹介	
地域支援・地域連携		・通所児の園生活の様子を観察に行ったり、必要に応じて園担当者に見学に来てもらったりして、在籍園と連携を図り、障がい特性に合わせた支援に努めています。 ・保健センターや当センター医師との情報連携や調整を行っています。 ・市内外の相談支援事業所との連携を図っています。						
職員の質の向上		・当センター理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による専門指導を受け、日々の療育での支援に活かしています。 ・富山県児童発達支援センター連絡協議会主催の合同研修など、定期的に通園時の発達や支援に関わる研修に参加しています。 ・県主催、他県主催の対面またはオンライン研修に参加しています。 ・月に1～2回職場内で研修を行い、研鑽を積んでいます。						
主な行事等		・季節に合わせた製作活動、ルールのある遊び ・夏季の水遊び						